

IBM Services



IBM クラウド・ レジリエンス・ オーケストレーション

ハイブリッドクラウド環境の迅速で
信頼性の高い自動復旧



目次

- 2 将来、障害は一切容認されなくなる
 - 3 複雑なハイブリッド環境向けに簡素化された災害復旧
 - 4 レジリエンシーの最適化によって事業継続性を強化
 - 5 マルチクラウド環境向けの信頼性の高いスマートなデータ保護
 - 6 IBM をお勧めする理由
- よりスマートな方法でデータを保護していますか？

将来、障害は一切容認されなくなる

ハイブリッド・マルチクラウド環境への道のりを進む企業は、ますます多様化し、相互接続が進む環境全体で災害復旧のワークフローを管理することがどれほど困難であるかを今更ながら理解し始めています。その結果、多くの企業が、最初にハイブリッド・マルチクラウドの導入を決断した主な理由、「より優れた能力の獲得と、より優れたカスタマー・エクスペリエンスの提供」を否定するような状況に陥っています。

ハイブリッド・マルチクラウド環境には運用上の複雑さと要求が伴います。また、このような環境では、サイバー攻撃者に狙われる可能性も増えます。このような現実によって、障害や計画外ダウンタイムのリスクが増え、現在の急激に変化する世界でのサービスの中断がビジネスにもたらす影響は壊滅的なものになる可能性があります。

ハイブリッド・マルチクラウド環境において、費用のかかる障害やサービスの中断の発生を軽減および防止するには、データ保護/復旧機能を備えたハイブリッドクラウド・プラットフォームに加えて、高度に専門的なスキル、統合戦略、さらにはサイバー復旧と災害復旧用のオーケストレーションのようなテクノロジーが必要です。デジタル変革に取りかかる前に、企業はこのような真のレジリエンシーの基盤をハイブリッド・マルチクラウド戦略に統合しておく必要があります。データ保護と災害復旧を後から付け足した場合、企業は自社の責任でそのリスクを背負うこととなります。

ハイブリッド・マルチクラウド環境において、費用のかかる障害やサービスの中断の発生を軽減するには、高度に専門的なスキル、統合戦略、さらにはデータ保護/復旧のテクノロジーが必要です。



複雑なハイブリッド環境向けに簡素化された災害復旧

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションは、高まる期待、急激なデータ増加、増加するサイバー脅威などに直面する企業のための、IT サービスのレジリエンシーの向上に貢献するマネージド・サービスのパッケージです。このサービスでは、IBM レジリエンシー・オーケストレーション・ソフトウェアによって駆動されるオーケストレーション・プラットフォームが使用されています。このプラットフォームには、固有のレプリケーターや異常検出器などのツールがバンドルされており、障害の発生時にボタンを押すだけで、自動的にアプリケーションをフェイルオーバーあるいはリカバリーする機能が装備されています。フェイルオーバーの自動化により、独自に設定した目標復旧時間 (RTO) 内に復旧を完了できます。オペレーター・エラーをなくし、人への依存を軽減することにより、アプリケーション・リカバリーを予測可能にすることができます。

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションにより、災害復旧管理を簡素化して、リスクを軽減し、可用性、効率性、事業継続性を改善できます。このサービスは、データ保護と災害復旧のワークフローのインテリジェントな自動化を実現して、複雑なハイブリッド・インフラストラクチャーの完全な災害復旧 (DR) ライフサイクル管理と、サイバー・インシデント・リカバリー・オーケストレーションを可能にします。

反復可能で信頼できるリカバリー・ワークフロー

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションには、よく使用されるアプリケーションとデータベースのパターンとインテリジェントなワークフロー自動化オプションの広範なライブラリーが付属しています。お客様は 800 件を超える業界標準の定義済みワークフロー・パターンと自動化オプションから選択し、それらを組み合わせて、反復可能で信頼できるリカバリー・ワークフローを作成できます。また、復旧プロセスを拡大、縮小、あるいは簡素化することもできます。このライブラリーはまた、ヒューマン・エラーを最小限に抑え、SLA パフォーマンスを確実に維持する自動化機能によって、クラウド内での迅速な災害復旧を可能にします。

リアルタイムの災害復旧に対応

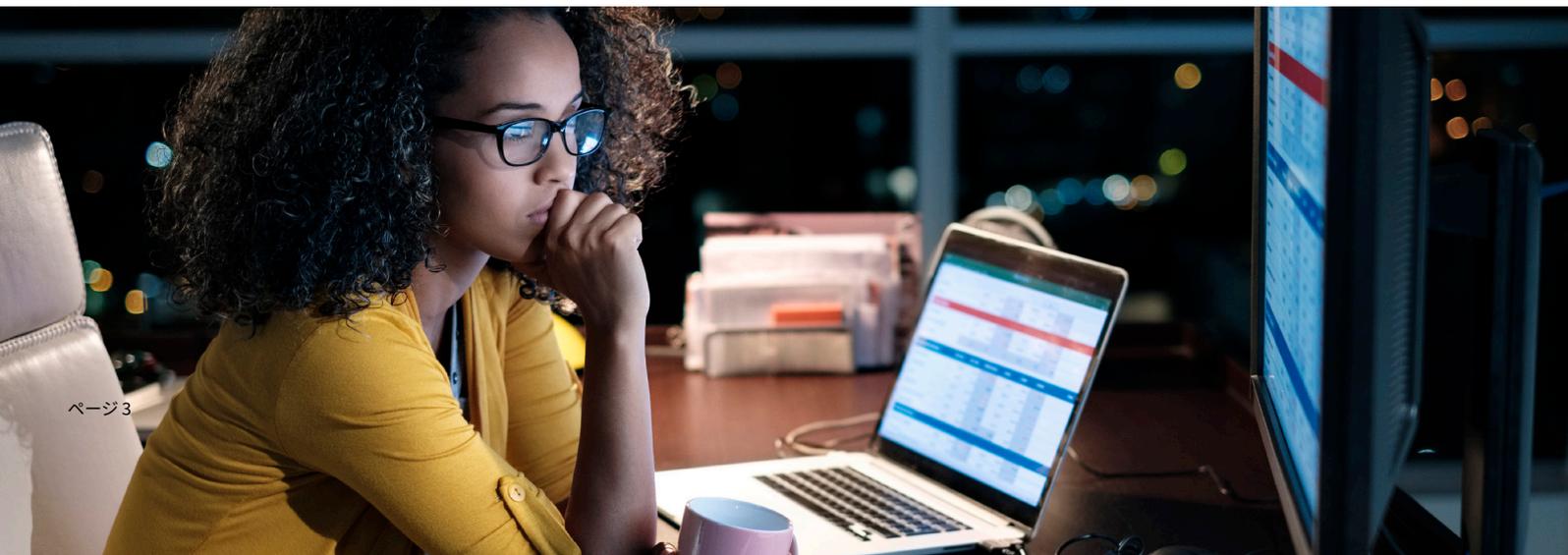
IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションでは、使いやすい Web ベースの管理用ダッシュボードを介して、物理システムまたは仮想システムのフェイルオーバーとリカバリーの管理を含む、すべての災害復旧操作をリアルタイムで自動化、モニタリング、管理できます。

一方、災害復旧のモニタリングや管理を含む日常の操作は、IBM レジリエンシー・サービスによって実行されます。サービスが中断した場合、お客様のポリシーに従って通知が送信され、またダッシュボードを介してコンプライアンス・レポートが提供されます。

優れたレポート類と問題解決に役立つ豊富な機能

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションでは、包括的な災害復旧の監査およびコンプライアンス用ダッシュボードとレポート作成プラットフォームが提供されます。このサービスでは復旧目標時点 (RPO) と RTO に対する逸脱レポートが生成されるため、経営幹部は復旧パフォーマンスに関するよりよい洞察を入手でき、規制要件への準拠状況も確認できます。さらに、IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションでは、逸脱の発生時にアラートを発行するだけでなく、ドリルダウン機能を提供して、復旧時の問題に関するより深い洞察を入手できるようにしています。

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションのプラットフォームでは、ハイブリッド・マルチクラウド環境とマルチテクノロジー環境全体でリカバリー・ワークフローをインテリジェントに自動化することによって、災害/サイバー障害の発生時のデータとアプリケーションの復旧が簡易化および自動化されます。



レジリエンシーの最適化によって 事業継続性を強化

災害や障害が発生した場合、インテリジェントな自動化と最適化されたレジリエンシーによって、以下のようにして復旧にかかる時間が短縮されます。

- マルチベンダーの物理環境、仮想環境、コンテナ環境の複雑な復旧を自動化する
- ネイティブな複製にデータ保護を追加する
- バックアップされたデータ上での異常のスキャンを可能にして、サイバー・レジリエンスを強化する
- プラットフォーム構成の変更を管理する
- アプリケーション・データの損失や復旧時間に関するリアルタイムの洞察を提供する
- ドライラン機能を使用して、復旧の失敗の原因となる環境の変化を検出する
- 冗長で、リソースを大量に消費し、コストのかかる災害復旧プロセスを自動化する
- SLA および RTO/RPO を満たすようにリカバリー・ワークフローを設計する
- 復旧に関する包括的な監査レポートや資料を作成する

IT チームのための効率的な機能と使いやすさ

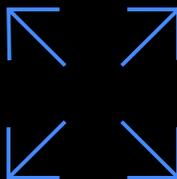
IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションを使用することにより、IT ユーザーやリスク・マネージャーは、災害復旧の訓練にかかる時間を短縮できます。また、ワンクリックのフェイルオーバーとリカバリー、そして簡単に素早くできるリソースや環境のプロビジョニングは、IT チームにとって大きなメリットとなります。

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションは、手動の作業や、リソースを大量に使用する、コストの高い IT 復旧プロセスを不要なものにします。

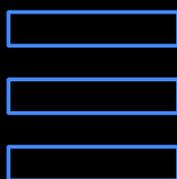
IBM クラウド・レジリエンシー・ オーケストレーションのメリット



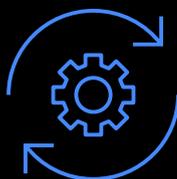
スピード | 災害復旧の自動化とテストにより、プロビジョニング時間を数時間/数日から数分に短縮して、RTO/RPO を改善できます。



スケール | リアルタイムのモニタリングと管理を実現するダッシュボードは、複数のデータセンター全体をモニターするよう拡張できるほか、異種環境をサポートします。



シンプル | アプリケーション認識型のアプローチにより、エンタープライズ・アプリケーションの複層的なリカバリーの導入と管理が容易になります。



適応性 | 複数のテクノロジーを使用しているエンタープライズ・アプリケーションのリカバリーを可能にして、監査およびコンプライアンスの管理要件を満たします。

マルチクラウド環境向けの信頼性の高いスマートなデータ保護

標準装備の継続的ブロック複製

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションは、標準装備の Resiliency Block Replicator (RBR) を使用することで継続的ブロック複製機能を提供して、パブリックおよびプライベートの両方のクラウド内での柔軟性を高めます。Resiliency Block Replicator の特長として、以下を挙げることができます。

- Microsoft Windows や Linux のシステム上で稼働するエンタープライズ・ワークロード向けの、VMware ハイパーバイザー・ベースの継続的な非同期データ複製
- 非 VMware ワークロード向けのホスト・ベースのデータ複製
- デプロイメント作業を軽減する、複製コンポーネントのデプロイメントの自動化
- 災害復旧のフェイルオーバーとフォールバックのワークフロー

Cyber Recovery as a Service (CRaaS)

Cyber Recovery as a Service オファリングは、お客様がシステム上で発生したサイバー攻撃から復旧できるようにするフルマネージド・サービスです。迅速な復旧を可能にして、ビジネスに対する攻撃の影響を最小限に抑えるように設計されています。

IBM レジリエンシー・オーケストレーションには、サイバーインシデント・リカバリー機能が装備されています。この機能は、変更不能な WORM ストレージ、エア・ギャップ保護、コピー・データ管理、ポイント・イン・タイム・コピー、異常の検出などの先端テクノロジーを使用して設計されています。

Orchestrated Disaster Recovery as a Service (DRaaS)

IBM Orchestrated DRaaS for IBM Cloud は、オーケストレーションと複製のテクノロジーによって DR の自動化を簡素化します。この統合ソリューションでは、VMware と Hyper-V のワークロードを自動的に任意の IBM Cloud データセンターにリカバリーして、リアルタイムで DR 対応状況を確認できるようにして、DR のテスト時間の短縮と DR のフェイルオーバーの削減を図っています。これにより、よりスマートで、これまでより適合性や俊敏性に優れた、よりコスト効率の高い DR 体験が実現されます。

付加価値の高いオプション・サービス

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションでは、コンサルティング、Application and IT Discovery などの特別に設計されたオプション・サービスも提供されます。これらのサービスは、お客様のエクスペリエンスを向上させ、エンドツーエンドのエンタープライズ・レジリエンシーの予測を可能にします。

e サービス

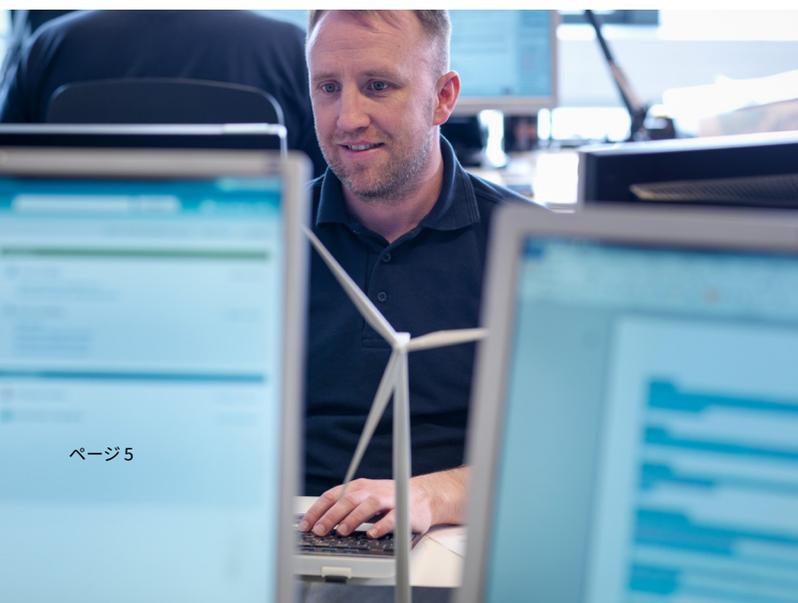
オプションのコンサルティング・サービス付きの IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションは、以下のような方法で企業の総合的なレジリエンシーの強化を支援します。

- オーケストレーション準備状況アセスメント: オーケストレーションに必須の 10 分野で調査を行い、移行の準備状況レベルを決定します。
- アプリケーションへの依存関係分析: リカバリー/再起動のワークフローと手順に関する重要なアプリケーションへの依存関係を特定します。
- レジリエンシー・プログラムの管理: リカバリー・ワークフロー作成の管理、訓練 (テスト) の実行と調整、DR プログラムの全体的な管理

Application and IT Discovery

Cloud Resiliency Application and IT Discovery for Orchestration は、以下のようにしてインフラストラクチャーを論理的にセグメント化するディスカバリー・プロセスを自動化します。

- マルチレベルのサーバーへの依存関係を特定する
- 手動のグループ化手法よりも迅速で正確な手法



IBM をお勧めする理由

IBM のレジリエンシー・サービスには、世界中のお客様のバックアップとリカバリーのさまざまなご要望に数十年にわたって対応してきた豊富な経験があります。

IBM の優位性

- レジリエンシー・ライフサイクル全体に関する専門知識
- 物理、仮想、クラウドのワークロードの自動復旧
- ほとんどゼロ/数秒、あるいはお客様が必要とするレベルの RPO/RTO
- 800 を超える定義済みパターンを使用して、迅速かつ効率的な実装と拡張性を実現
- IBM Cloud® と Red Hat® の連携によってエンタープライズ・レベルの拡張性を実現
- IBM グローバル・ファイナンスによる柔軟な支払いプランとオプション

高い信頼性

- 9,000 を超えるお客様が、IBM の災害復旧サービスとデータ管理サービスによって保護されています。
- IBM は、年間 3.5 エクサバイトを超えるデータをバックアップおよび管理しています。

グローバル展開

- 世界の 50 を超える国に 300 を超える IBM レジリエンシー・センターが設置されています。
- IBM では、世界中で 6,000 人を超えるプロフェッショナルをレジリエンシー専任としています。

よりスマートな方法でデータを保護していますか？

データ保護と災害復旧のワークロードのインテリジェントな自動化によって、計画外のダウンタイムを最小限に抑え、ビジネス・リスクを軽減できます。

IBM クラウド・レジリエンシー・オーケストレーションがもたらすビジネス効果については、[ここにあるデモ](#)をご覧ください。



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19-21

IBM のホーム・ページは下記のとおりです。
ibm.com

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、および IBM Services は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM 商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

本書の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は特定物として現存するままの状態を提供され、第三者の権利の侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を免除されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適切なセキュリティの実施について：IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスにより、情報の改ざん、破壊もしくは悪用を招くおそれがあり、またはシステムの損傷や、他のシステムへの攻撃を含む悪用につながるおそれがあります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品、サービスまたはセキュリティ対策が、不正な使用やアクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステム、製品およびサービスは、合法的で、包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が必要です。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。© 2 Gartner 社プレス・リリース。

© Copyright IBM Corporation 2021

WXZGPA3G_98036998-JPJA-00